

会議名	令和 7 年度 第 2 回宇都宮市民遺産会議
開催日時・開催場所	令和 8 年 2 月 2 5 日（水）午後 3 時～午後 4 時 3 0 分 宇都宮市役所 1 6 階 1 6 B 会議室
議題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 会議の成立について 4 会議の公開・非公開の決定 5 報告事項 （1）第 1 回宇都宮市民遺産会議議事録の確認について 6 協議事項 （1）令和 7 年度宇都宮市民遺産（みや遺産）の認定について 7 その他 8 閉 会
出席者氏名	三橋伸夫会長，梁木誠副会長，小柳真弓委員，大澤慶子委員 大嶽陽徳委員，小川聖委員，林光武委員，小松俊雄委員，松本泰宏委員
公開・非公開の別	非公開
傍聴者の数 （公開部分に限る）	0 名
非公開の理由 （非公開の会議に限る。）	当該会議の協議事項である市民遺産の認定については，当該懇談会における意見聴取を経て宇都宮市で審議される意思形成過程にある情報であり，現時点における認定申請に係る情報等を公開することにより，市民・利害関係者等に不正確な理解や誤解を与えることとなり，審議に支障を生じると認められるもの（宇都宮市情報公開条例第 7 条第 5 号）であるため。
発言の要旨	
5 報告事項 （1）第 1 回宇都宮市民遺産会議議事録の確認について 委員一同： 意見無し 6 協議事項 （1）令和 7 年度宇都宮市民遺産（みや遺産）の認定について 会 長： 2 件の審議案件がある。1 件ごとにご意見をいただいていく。 ① 徳次郎 智賀都神社の夫婦けやき 委 員： 「日本一」ということについて，調べた結果，日本一級であることは間違いないため，日本一と名乗って問題ない考える。 「夫婦けやき」という表現について，巨木の価値や指定に関する表現としては，あまり適さない表現だが，みや遺産として，地域に愛されている，地域を盛り上げることを目的とした表現としては妥当であると考え。 会 長： 学術的な表現というよりは地域のアイデンティティの表現として良いのではないか。	

委員： けやき自体が古い巨木であり、地域のシンボル、神社の御神木として巨木が神社にあるというのは意味のあるもの。地域の人が大切にしていること守っていこうとする強い気持ちがあることに意義がある。

会長： 以上のことから、みや遺産として認定することが妥当であると思う。

② 姿川地区の戊辰戦争関連遺跡群

委員： 現地調査を行い、碑・塔などが集まっている場所の西にあり、多くのものは、近隣からこの場所へ持ってこられて現在のような密集場所になったと考えられる。碑の保存状態については、比較的残っている部分は多いが、角の部分は風化が見られ、今後、何らかの保護対策が必要であると考ええる。

委員： 石碑の保存は難しい。石に特殊な処理をするのもどうなのだろうか。今回申請された碑以外のものも、貴重で立派なものが多い。地域で大切にされていると感じる。何らかの形で保存の手立てができればと思う。合ノ畑墓地にある石碑のように雨風をしのげないところにあると風化は進んでしまう。

会長： 面積も広いこと、屋根が必要なことなど、保存方法については地域と事務局で検討していただき、風化を防ぎ、長期的に保存できるような手立てを検討していただきたい。

委員： 現状変更は可能なのか。

委員： 南に向けることができれば、囲いを作りやすいかもしれないが、それが可能なかはわからない。今まで石碑の向きが変わったことはないということなので、西側に向けるというのも何かしらの意味もあるかもしれない。

委員： これは個人所有なのか。

委員： 個人所有の敷地内にある。

委員： 現状から、福智院の敷地であったと考えることもできると思う。

委員： 石碑との間に古くからの家も数軒あるため、断定はできないと思う。

会長： 「姿川の」をいれたことで、地域が明確になったと思う。

委員： 合ノ畑墓地に戦死者旧幕府軍が埋葬された可能性はどうなのか。

委員： 現状では、分からない部分がある。村史などに記載はあるが断定はできない。

委員： 学校教育等で広めることを考えると言い切らない方が良いのではないか。

委員： 断定的ではなく、地元に伝わっているという表現がいいと思う。

会長： 調書もそのように修正した方がいいと思う。石碑については保存を前提に

考えていくとよいことから、総合型の認定で良いのではないか。

委員： それぞれの場所の同意は取れているのか。

事務局： 追加で同意書の取得を進めているところである。

7 その他

会長： その他、市民遺産の制度などについて、ご意見があれば伺いたい。

委員： これまで認定されたみや遺産の認定後の活用等について教えてほしい。

事務局： 今年度は、上河内民俗資料館でみや遺産に関する企画展を実施した。また、認定されたみや遺産を活用した生涯学習センター主催の講座による周知、市民ホールや巡回展での紹介を行っている。認定団体においても、紹介用のチラシなどを作成し、周知啓発を行っている団体もある。

委員： 会議資料の報告事項に認定後の動きや支援についての情報の記載があると認定後の様子もわかっていいと思う。

事務局： 活用実績についても、お知らせするようにしたい。

委員： 認定地域に偏りがあるが、働きかけが必要と感じる。

事務局： 引き続き、地区市民センター等に働きかけをしていきたい。

その他の事項